虐めによる自殺衝動の考察と苦痛の解説と仮説

シー様(借りの返せない男)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

小説タイトル】

虐めによる自殺衝動の考察と苦痛の解説と仮説

【スロード】

【作者名】

シー様(借りの返せない男)

(あらすじ]

自殺衝動の考察と苦痛の解説

過去、 居ましたが、その少年についてスポットライトを当ててみます 虐めにより遺書をテレビ局に送りつけた後、 自殺した少年が

駆られた事のない人が考える描写である。 以下の虐めにより自殺する少年の心理描写は、 恐らく自殺衝動に

<自殺者の目線>

僕は、世界で一番不幸な人間なんだ。

だから僕は自殺する。

僕か、自殺する理由は、いじめである。

僕は、学校でいじめらている。

ひどい、とても、ひどい虐めである。

僕の給食のプリンを取られた。

僕の給食に嫌いなニンジンを入れられた。

朝、学校に着くと、椅子と机が外に出ていた。

帰る時は、靴が隠されていた。

雨の日は傘の持つところで、股間をつつかれた。

悪口を言われた。

皆に無視をされた。

ケンカしても勝てなかった。

でも、僕は、先生にも親にも相談しない。

僕は強いから、そんなことしない。

でも僕は、 世界で一番不幸だから、 存在価値が無い。

生きている理由は無い。

だから死ぬ。

僕は、 どうせ死ぬなら、 遺書を書いて、テレビ局に送った。 世界で一番不幸であることを皆に認識させたい。

けれど、 放送されなかった。

どうして僕を認めてくれないの? どうして?世界で一番不幸な人が、 ここに居るんだよ。

ねえ、 ねえ、 お父さん、 お母さん、 僕 僕、 いじめられたよ。 いじめられたよ。 世界で一番不幸な人だよ。 世界で一番不幸な人だよ。

僕は、 れた。 お父さんと、 お母さんに「先生に相談しましょう」 بح 言わ

相談っ ねえ、 聞いて、僕は、 て何?それどういう意味なの?わからない。 世界で一番不幸な人なんだよ。

ないんだ。 そうか!!僕は、 まだ、生きている。 生きていたら、 不幸とは呼べ

自殺してこそ可哀想な人である、

死んで初めて、 僕は、 世界で一番不幸な人になるんだ。

よし、 自殺してみよう。

自殺は、 簡単だ。

テレビでやっていた、 真似をすればいいのだ。

ンプ!!! ロープを高いところに、 くくってヨイショ。。 台に乗ってジャ

僕は、 首を今つった。 これで死ねる

くるい 0 0

死ぬの。 くるし。

こんなに苦しいなんて。。。。

知らなかった・・・

もう駄目。。

だれか、、助けて。。。

だれ。。。か・・

~ 心理考察~

いじめた奴らに復讐。

虐めが良くないということを世間にアピール。

この2つの可能性もありましたが、

この2つを考えられるほどの、行動力があったなら。

じめから、 逃げるという選択肢も考えられるはずな訳で。 0

最近、 テレビで、残酷描写を避ける為に、 自殺で苦しむ顔のシーン

をカッ トする傾向があります。

余計に死に対して無頓着になっているのではなかろうか。

それが、

かといって残酷表現もいけない場合も、 あるわけで、 警察の犯罪デ

- タベー スに内には ,

応じて、 児を殺害したという事件もありますから、 3歳児がホラー映画の首を絞めるシーンの真似をして、 とことん分析しなきゃ いけませんね。 放送する側は、 兄弟の ケースに

Ę 放送していたら、 いいつつも、 仮に、 首を吊って自殺するシーンで、 苦しむ顔を

せてもらいます。 快楽的な凶悪少年が、 真似をする可能性もあるんで、 前言は撤回さ

放送者は、 私が考える以上に、 とことん分析しているみたいです・

馬鹿にしてゴメンナサイ。

また、 つの原因なっているのではなかろうか。 完璧すぎる親。 いわば、 感情的な自分を出さない親も、 ひと

もし、 は自分が世界で一番不幸であるかどうかを 親が「男ならやり返せ」と、いう言葉があったなら、主人公

考えるキッカケになったかもしれない。

Ļ いいつつも、 これも前言撤回ですね。

やり返して頑張った少年に「男ならやり返せ」とプレッシャー · を与

えたら、

親に認められないことに絶望して、 結果的に「 自分が世界で一番不

幸な人」 と考えて自殺するかもしれません。

僕自身、 少年」だ! 子供の頃、 嫌なことがあると、 自分は「世界で一番不幸な

Ļ 思っていた時期があります。

皆さんは、子供の頃、 どうでしたか。

その時期に、運悪く、主人公のような影響を受けていたら、 たのは自分かもしれないです。 自殺し

れが以下となる を元にしたら、 Ļ 上記の様に思っていましたが、 別の視点でこの少年は死んだ可能性があります。 自分の自殺衝動に駆らた経験 そ

<自殺者の目線 続き >

ねえ、 ねえ、 お母さん、 お父さん、 僕、 僕、 いじめられたよ。 いじめられたよ。 世界で一番不幸な人だよ。 世界で一番不幸な人だよ。

僕は、 れた。 お父さんと、 お母さんに「先生に相談しましょう」 言わ

相談っ て何?それどういう意味なの?わからない。

ねえ、 聞いて、僕は、 世界で一番不幸な人なんだよ。

あれ? 情けないな・ なんで・ 僕ってなんでこんなに被害者ぶっているいるんだろうか。 • なんで僕の事を誰も理解してくれない 僕は、こんなに弱い人間じゃな のかな。 ίÌ

誰かに頼ってすがる様な弱い人間なんかじゃない。

我慢できる。 だから我慢、 我慢するんだ! 今までだって、 虐めに耐えてきた。

ؠؙ

苦しいよ。 やっぱり我慢するのは辛い 寂しい ؠؙ

誰かお願い、 僕をここから救い出して

い、言えない。言いたくない!

こんな弱い僕を僕は絶対認めたくない。

でも駄目、このままだと僕、自殺したくなる。

よし、決めた。 遺書を書いてテレビ局に送ろう。

実際死ぬわけじゃない。ただ、虐めが良くないと世間にアピー て貰えれば、誰かの虐めが無くなるかもしれない。 上手く行けば僕

の虐めも終わるかもしれない。

それに僕が虐めに耐えてきた意味があるというものだ。

なぜ、どうして、僕の事が話題に成らないの?

そうか、実際に人が死なないとメディアはネタにできないんだな。

じゃあ、 僕はこれから、どうしたらいいんだ?

今まで通りに虐めに耐えなければいけないのか?

嫌だ。

怖い

学校なんて行きたくない。

でも、行かなくちゃパパとママを不幸にする。

でも嫌なんだ。

消えたい。

でも、死んだら余計にパパとママを不幸にする

どうしたらいい?

判らない。

時間がない。

明日が来る。

怖い。

どうしたらいい?

判らない。

時間がない。

後10時間しかない。

怖い。 怖い。 怖い。 怖い。 怖 ſΪ 怖 ίį 怖 怖 ſΪ 怖 61

どうしたらい い?どうしたらいい?どうしたらい い?どうしたらい

い?どうしたらいい?どうしたらいい?どうしたらい ۱ را ?

判らな

r,

判らない。

判らな

ι'n

判らない。

判らない。

判らな

判らな 判らない。 判らな ſΪ 判らない。 判らな 判らない。

判らない。判らない。判らない。判らない。

時間がな l, 時間がな ίį 時間がない。 時間がな ι'n 時間 がな

時間がな ιį 時間がない。 時間がない。 時間がな 1, 時間がない。

時間がな ιį 時間がない。 時間がない。 時間がな 時間 がな

時間がない。時間がない。時間がない。

後1時間しかない。

怖 ίį ſΪ 怖 怖 ľ ίį 怖い。 怖い。 怖 怖 ίį ſΪ 怖 怖 1, l, 怖 怖 ſΪ ſΪ 怖 怖 61 怖 怖 しし l1 怖 怖 ſΪ ſΪ 怖 怖

ſΪ 怖 ίį 怖い。 怖 ίį 怖 1, 怖 1, 怖 怖 L1 怖 ij 怖

怖 ſΪ 怖 ίį 怖い。 怖い。 怖 1, 怖 ίį 怖 61 怖 ſΪ 怖い。 怖 ίį

怖 怖 ſΪ 怖 怖 1, ίį 怖 怖 怖い。 怖い。 怖 怖 ſΪ ιį 怖 怖 ίį ίį 怖 怖 61 61 怖 怖 61 11 怖い。 怖い。 怖 怖 ſΪ ſΪ

怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖い。 怖い。 怖 怖 11 怖 怖 怖 怖 61 怖 怖 怖い。 怖 ίį 怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖 怖 怖 怖 怖 怖 61 しし 怖 怖い。 怖 怖 ιį 怖 怖 怖 11 ſΪ しり 怖 怖 怖 61 怖 怖 11 ίį 怖 怖 ſΪ ιį 怖 怖 ſΪ 1, 怖 怖 1,

どう どうし ۱۱ ? したら どうし 5 どうしたら 5 したら らいい?どうしたら い?どうしたら い?どうしたら い?どうしたらいい したらいい 61 しし したら 61 ۱ را ۱ را たら たら ?どうしたら 61 ?どうし l1 ?どうしたら しし ?どうし 61 61 ?どうし しし い?ど しし い?どうしたらい い?どうしたらいい ? ど たら 61 しし 61 l1 たら 61 ?どうしたら たらいい?どうしたらい うしたら しし ?どうしたら うしたら いい?どうしたら ?どうしたらいい?どうしたら い?ど い?どうしたら را ۱۱ しし 61 ?どうしたらい ?どうしたら うしたら しし いい?どうしたら しし い?どうしたら ? ど しり しし ?どうしたら L١ l1 ?どうしたら ?どうしたら うしたら 61 61 いい?どうし い?どうし い?どうし しし しし しし 61 ? ど ? ? ど 61 しし 11 61 61 l1 61 61 たら うし たら ?どう たら ?どうしたら うしたら ?どう うしたら l1 61 l1 ?どうし しし l1 l1 たら `?どう ? しし 61 61 ? تع しし l1 l1 تلے う たら たら 61 たら ? しし ? う 61 ? どう ١١ U 61 ? う た う た L1 L1 ? ?

判らな 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判らな 判らな 判ら 判 らな な な な な な な 11 ιį 1, ſΪ ſΪ りり ſΪ ſΪ ſΪ 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判ら 判ら 判ら 判ら な な な な 1, 1, ſΪ ſΪ 1, ſΪ ſΪ ſΪ L1 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判 判ら 判 らな 5 な な な な な な な な な ſΪ 1, 1, ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ りり ι'n 判らな 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら な な な な な な な な な ίÌ ίÌ ι'n 11 61 ſΪ 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら な な な な な な な な な 11 ſΪ ſΪ ſΪ L1 L1 L1 ſΪ 判らな 判 判 判 判 判 判 判 判 らな 5 5 らな 5 5 5 5 な な な な な な

時間 時間 が が が な な な 1, ιį 61 時間 時間 時間 が がな が な な ſΪ 1, ſΪ 時間 時間 時間 がな がな が な ι'n ι'n 時間 時間 時間 が が が な な な 1, ſΪ ιļ 時間 時間 時 間 が が が な な な

怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しり l1 しし L1 L١ しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし L1 しし l1 しし L1 しし 11 l1 L1 L1 しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 1, L1 L1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし しし L1 l1 L1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 しり しし ſΪ りり ſΪ ſΪ りり l1 ſΪ ١١ ſΪ ſΪ しり しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 い 11 しし l1 11 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 L1 l1 L1 しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし しし l1 しり しり L١ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし 11 l1 しし 11 l1 61 しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖

時間 時 時 時 時 時 時 時 蕳 間 蕳 間 間 間 間 が が が が が が が が な な な な な な な な ſΪ l1 しし l1 しし しし L1 しし 時 時 時 時 時 時 時 間 間 間 間 蕳 間 間 間 が が が が が が が が な な な な な な な りり ſΪ り 時 時 時 時 時 時 時 時 間 間 間 間 間 間 間 間 が が が が が が が が な な な な な な な な 時間 時間 時間 時 時 時 時 間 間 間 間 が が が が が が が な な な な な な な ſΪ しし 61 ſΪ 時 時 時 時 時 時 時 間 間 間 間 間 間 間 が が が が が が が な な な な な な な

後30分しかない。

怖 しし L1 しり しり L١ L١ L١ l1 しし L١ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 11 11 l1 11 l1 l1 L1 L1 L1 l1 しし しし しし しし しり L1 L١ L١ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 l1 りり ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし L1 怖 りり りり しり しし しり しし ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ り ſΪ 怖 しし L1 L1 l1 しし しし しし しり しり しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 L1 しり 怖 しし l1 L1 L١ l1 しし L1 しし しし しり しり L١ l1 しし L١ 怖 しし 11 11 11 l1 l1 l1 L1 L1 L1 しし L1 LI 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし

怖 怖 り 怖い。 怖い。 怖 ſΪ 怖 ίį 怖 ίį 怖 ſΪ 怖 怖

どう らいい らいい どうし どうしたら 5 したら 5 どうしたら どうしたら したら どうしたら したら したら 5 したら い?どうし い?どうし い?どうしたら い?どうしたら い?どうしたらいい?どうしたらい い?どうしたら ١J したら い?どうしたら ?どう ?どう. 61 61 ?どうしたら ۱ ا ۱ ا ۱ ا ۱ ا ۱) ۱) たら ?どうしたら いい?どうしたら たら たら ?どうしたら しし ?どうしたら ?どうしたらいい?どうしたらい しし 11 いい?どうしたら ?どうしたらいい いい?どうしたら したら したら い?どうしたら い?どうしたら い?どうしたら い?どうしたらい 61 61 いい?どうしたら いい?どうしたらいい?どうしたら い?どうしたら い?どうしたらい い?どうしたら 61 い いい?どうしたら いい?どうしたら いい?どうしたら い?どうしたら 11 ۱۱ ۱۱ ?どうしたら しし l1 い?どうしたらい 11 ?どうしたら ?どうしたらい ?どうしたらい 11 ١J いい?どうしたら いい?どうしたら いい?どうしたら L١ い?どうしたら い?どうしたら 61 ι) ι) ?どうしたら しし い?どうしたら い?どうしたら い?どうしたら ?どうしたら ?どうしたら 61 いい?どうし いい?どうし いい?どうし いい?どうし い?どうし 11 しし しし しし 11 い?どうしたら ? ك 61 61 ۱ را ۱ را 61 61 ? ど ۱ ا ۱ ا ? ど 11 ?どうしたら しし い L١ ?どう たら たら たら たら たら 11 ?どうしたら 11 ?どうしたら うしたらい 61 ?どうし うしたら うしたら 61 61 ?どうし ?どうしたら ۱۱ ? ۱۱ ? 61 61 l1 ? ١١ い い ? L١ ? い ?どう どう どう 61 L١ تع L١ تع 61 61 たら ? ど ぅ たら たら 61 ? 61 ? う 61 ? l1 ? どう どう う う た ? た ? た ? l1 L1 ? ?

どう らい どうしたら ?どうし ?どう ・?どう たら たら 61 ?どうし したら 61 ?どうし ?どうし 11 たら ?どうしたら ?どうしたらい L١ たら たら ?どうしたら l1 ĺ١ ?どうしたら 11 L١ 11 ?どうしたら ?どうしたら 11 ?どう ?どうしたら い?どうしたら たら ? ٽ L١ 11 11 L١ うし ?どうし ?どう 11 `?どう. たら ?どう L١ たら たら 61 ?どう た しし ?

らいい どう どうしたら したら 5 らいい?どうしたら どうしたら したら らいい?どうしたら どうしたら い?どうしたら い?どうしたらいい?どうしたらいい したらいい?どうしたら い?どうしたら たら ١J 11 Ū ・?どう たら ۱ ا ۱ ا いい?どうしたら いい?どうしたら ?どうしたらいい?どうしたらいい?どうしたら いい?ど いい?どうしたら いい?どうしたら いい?どうしたら ?どうしたらいい?どうしたらい L たら いい?どうしたらいい いい?どうしたら いい?どうしたら いい?どうしたら いい?どうしたら ۱۱ ۱۱ いい?どうしたらい いい?どうしたらい ?どうしたらい いい?どうしたら いい?どうしたら いい?ど ι) ι) うしたら ?どうしたら ?どうしたら ?どうしたら いい?どうし いい?どうし いい?どうし l1 しし しし い?どうしたらい ر ا ۱ ا 61 61 ? ど ۱ را ۱ را ?どうしたらい ?どうしたら たら 、?どう たら たら l1 ?どうしたら うしたら l1 61 ?どうしたら 61 61 l1 61 ? しし ? l١ しし ?どう い?ど したら تع しし تع 61 l1 うし 61 う 61 ? ٽ ? ?どう どう l1 61 61 う う ? た た た L1 ? しし ? ?

判らな な な ſΪ ιļ ιļ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ľ ſΪ 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判ら 判らな 判らな 判らな 判ら 判ら 判ら 判らない。 な な な な ίį ſΪ 1, 1, しし 11 11 ſΪ ſΪ 1, ſΪ 判 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判ら 判ら 判らな 判らな 判 判 判 判 5 5 5 5 5 な な な な な な な 11 しし l1 L1 L1 しし しし L1 判ら 判らな 判ら な な な な な な な な な な な な な 61 61 11 11 11 61 判ら 判らな 判 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら 判らな 判 5 な な な な な な な な な な な ſΪ 61 L1 ΙÌ ΓÌ ΓÌ しし l J しし L1 l1 判らな 判らな 判ら 判らな 判らな 判ら 判ら 判らな 判 判 判 判 判 判 らな らな 5 5 5 5 な な な な な な な

判らな

判らな

な

判ら

な

らな

判らな 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 判らな 時 がな が が が が が が が が が 11 な な な しし 1, ſΪ ιį ιį ιį な な 11 な な な ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ しし 11 11 1, 1, ιį ιį l1 61 61 判らな 判ら 判ら 判ら 時間 がな がな ίÌ が が が が が が がな ſΪ ſΪ ſΪ ιį 1, ſΪ 11 が が ſΪ L1 L1 L1 11 な な な な な な な 判らな ιį 判らな 判らな 判ら 判ら 判ら 判ら 判ら しし しし ľ ſΪ ſΪ 判 判 61 5 5 な な な 時 時 時 時間 時間 時間 時間 な な 時 時間がな 時間がな 時間がな 間 蕳 ſΪ ľ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ りり ſΪ ſΪ ſΪ ΓĬ ſΪ しし が が が が が が が が 判らな 判らな 判らな 判ら 判ら 判ら 判ら 判らな 判らな 判ら な な な な な な な な 1, ιį 1, l1 ſΪ な な な な な な な な な な な な な な 1, 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 11 1, ſΪ ſΪ ſΪ 時間 時間 時間 ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ 間 判らな 判らな 判ら 判ら 判ら 判ら が 判ら が が が が が が が が が が 判 な な な な な な な な 5 な な な な な な な な な な しし な な な な 61 61 61 L1 しし な な な L1 L1 ſΪ ſΪ 61 61 ſΪ ſΪ 11 ſΪ 61 L1 しし 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時間 時 時 蕳 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 間 間 判らな 判らな 判らな 判らな 判らな 判 判 判 判 判らない。 らな がな らな らな が が が が が が が が らな が な な な な な な な な な ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ

時間 舑 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 時 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 が な l1 L1 しし しし l1 11 しし L1 しし 11 l1 l1 L1 しし L1 しし L1 L1 L1 L1 L1 l1 l1 l1 LI しし しし L1 しし 時間 時 時 時 時 時 時 時 時 時 蕳 間 蕳 間 蕳 間 間 間 間 間 間 蕳 間 誾 誾 間 が な しし しし しし しし L1 L1 L1 L1 しし ſΪ ſΪ りり りり ſΪ ſΪ r, りり ſΪ りり しし L1 L1 61 時 畤 時 時 時 時 時 時 間 間 蕳 間 が な しし 11 11 11 しし しし しし しし l1 L1 61 61 L1 しし しし しし しし しり L1 時間 時 時 時 時 時 時 時 時 時 間 蕳 蕳 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 が な しし しし しし 11 L1 11 l1 しし 61 L1 しし 61 l1 L١ しし しし L١ しし 畤 舑 時 蕳 間 誾 間 誾 蕳 間 が な ſΪ ſΪ ſΪ L1 ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ

時間 時間 時 時 時 時 時 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 あ 間 間 間 間 間 しり l1 L١ l1 L١ しし しり が が が が が が が 5分し な な な な な 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 な な 怖 怖 怖 ſΪ L1 しし しし l1 しし L1 しし 11 l1 L1 しし しり L1 l1 L1 りり l1 しし しし l1 しし か 時間 時間 時 時 時 時 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 時 な 間 蕳 間 間 間 1, 61 L1 ſΪ が が が が が が が L1 怖 怖 な な な な な な な 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし しし L1 l1 しし ſΪ ſΪ りり り 時 時 時 時 時 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 時 蕳 間 蕳 間 蕳 間 l1 61 しし ſΪ りり りり ſΪ りり ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ L١ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ が が が が が が な な な な な な 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 い しし しし l1 11 しり 時間 時間 時間 怖 怖 時 時 時 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 蕳 間 間 61 L1 しし l1 L1 が が が が が が な 怖 な な な 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 な な しし しし しし ſΪ ſΪ ſΪ しし 61 l1 しり しり L١ L١ 時間 時 時 時 時 時 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 間 蕳 間 間 間 しし 11 しし L1 しし 11 l1 しし しし が が が が が が 怖 怖 怖 怖 な な な な な な 怖 怖

怖

怖

怖

怖 怖 怖 しし しし 怖 怖 怖い。 怖 L1 怖

ſΪ 11 11 **61 61** しし りり 怖 l J ſĴ ſĴ ſΪ ŀ١ しし しし ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ ſΪ L١ ſΪ 61 怖 ſΪ ſΪ ſΪ しり しり しり 61 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 L1 しし l J しし しし l1 しし しり L1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし しし しし しし l1 61 しし しし 61 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 11 L1 しし しし しし い しし しし L١ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 L١ しり L١ しし しし l1 しり しり L١ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし L1 しし しし L١ しし しし い L١ しし しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし しし ιį しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 11 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖

しし しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 L1 l1 L1 しし しし しし しし L١ 怖 しし りり りり しし しし ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ ſΪ しり 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし l1 L1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ ſΪ ſΪ

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖 しし L1 L١ しし しり L١ L١ L١ l1 しし L١ 怖 11 11 11 l1 l1 L1 L1 L1 l1 しし しし しし しし L١ しり L1 L١ L١ L١ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 しし l1 ſΪ りり ſΪ 怖 しし しし L1 L1 L1 L1 L1 怖 りり りり L١ しり しし しり しし ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ り ſΪ 怖 L1 l1 L1 L1 しし しし しし しし しし しり しし しり 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 L1 L1 L1 しり 怖 しし しし l1 L١ l1 しし L1 しし しし しり L١ L١ l1 しし L١ 怖 11 11 11 l1 L1 l1 l1 しし L1 L1 しし l1 L1 L1 しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし ſΪ りり

怖 しし しし しし しり しり L١ L١ L١ しし L١ 怖 11 11 l1 L1 l1 l1 L1 L1 L1 l1 しし しし しし しし しり L1 L١ L١ しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし l1 ſΪ りり ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし L1 L1 しし L1 怖 りり りり しり しし しし しし ſΪ 怖 しし しし L1 l1 しし しし しし しし しり しり しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 L1 l1 L1 しり 怖 しし l l L1 L١ l1 しし L1 しし しし しり L١ L١ l1 しし L١ 怖 しし 11 11 11 l1 しし l1 しし しし L1 L1 11 しし L1 LI 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし L1 りり りり

怖 l l しし L1 L١ しし しり L١ L١ L١ l1 しし L١ 怖 L١ 11 11 11 l1 しし l1 L1 しし l1 しし L1 L1 l1 しし しし L١ L١ しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 りり ſΪ ſΪ ſΪ しし りり りり ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし L1 しし しし L1 11 l1 り しし 怖 しし しり しし ſΪ り **61 61** ſΪ ſΪ ſΪ しり ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ りり ſΪ 怖 L١ L١ しし い しり しし しり しり 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 11 しし L1 L1 L1 しし l1 怖 しし しり l1 l l しし L1 しし L١ しり L١ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ 怖 しし しし l1 l I 11 11 しし 11 l1 しし L1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 ſΪ りり ſΪ

怖 しし L1 しり しり L١ しし しり しり しし L١ 怖 しし l1 L1 l1 l1 しし しし しし しし しし しり L١ しり しし しし L١ しし しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 L1 L١ l1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし しし しし L1 しし 怖 しし l1 しし しし しし しし しり L١ しり ſΪ しし しり l l 6) l J しし l J しし ſΪ しし 怖 L1 L1 しし しし しし l1 しり L١ L1 しり 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 L1 しり 怖怖 l J l J L1 l J L1 しし しし しり L١ L١ l J しし しし 怖 L1 しし しし しし しし L1 L1 しし l1 L1 L1 しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし L1 しし L1 しし しし

怖 l l しし L1 しし しり しり L١ L١ L١ l1 しし L١ 怖 11 11 11 l1 l1 L1 L1 L1 l1 しし しし しし しし L١ しり L1 L١ L١ L١ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 l1 しし l1 ſΪ りり ſΪ しり 怖 しし しし しし L1 L1 L1 L1 怖 りり りり L١ しり しし しり しし ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ り ſΪ 怖 しし しし L1 l1 しし しし しし しし しり しり しり しり 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし L1 L1 l1 L1 しり 怖 しし l1 L1 L١ l1 しし L1 しし しし しり しり L١ l1 しし L١ 怖 11 11 11 l1 L1 l1 l1 しし L1 L1 L1 l1 しし L1 LI 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 しし L1 L1 ſΪ りり

怖 しし しし しし しし しし しし しし l1 L١ しり しり l1 しり しし 怖 11 しし しし l1 しし l1 l1 しし 11 しし 11 しし しし しし しし しし しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ り しし しし ιŅ 怖 しし い 11 11 11 怖 l1 りり L١ しり しし しし しり ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ しり しり ſΪ しり しし **しり しり** ſΪ ſΪ ſΪ 怖 11 しし しし しし しし 怖 しし L1 L1 11 l1 l1 しし 怖 l1 l l しし しし しし しし しし しり ſΪ 怖 い L١ しし しし しし しし l1 l1 しし しし 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ り l1

怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ 61 L١ 61 ſΪ ſΊ ſΊ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 61 61 L1 l1 11 しし L1 りり L1 l1 怖 怖 怖 怖 ſΪ ιį 1, ſΪ ιį ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖い。 怖い。 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 1, 1, 1, ιį ιį 11 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ り りり りり ſΪ l1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ίį 61 61 61 61 1, ιį 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 61 61 61 61 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 L١ ſΪ ſΪ ١J ſΪ ſΊ ſΪ ſΪ 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 61 61 61 LI しし l1 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 怖 ſΪ ſΪ ſΪ ſΪ

′仮説 ′

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

怖

葛藤し、 彼は上記の様に学校 打開策を必死で模索する無限 へ行く時間が迫り来る恐怖を受け ルト プ の中にた。 入れ戦

斐も無く打開 するべく、 に時間が迫っ 時間 が迫れ どうしたらい てる事に気づく。 策が見つ ば迫るほど、 から しし ない か考える事で更に頑張る。 より恐怖は大きく 現実を自覚。 気づいた時には、 なり、 頑張った努力 その恐怖を打開 頑張ってる間 の 甲

た そ からこそ、 の現実は恐怖 受け であり、 れたく その恐怖は 受け 打開策を見つける為に頑張っ 入れたくな からこそ、 更に

打開策を見つけようと頑張る。

になるのだが それでも打開策を見つからないと、 また、 頑張る。 というループ

学校へ行く事に対して死ぬよりの恐怖心を抱かなければ自殺は成立 ここまででは恐怖心が加速的に増えていく理屈は無い。

そのメカニズムを解明する為の第一段階として以下の例を挙げ うとする。 下ろす恐怖、 < 物理的に恐怖を与える為に高いビルの上に人が立ちビルの下を見 人は目に見える恐怖を直視できるかこそ、 高所恐怖を与えても。 時間と共に慣れる性質があるゝ 人間の体は免疫を持と

識している訳ではなく、 へ至っている瞬間、 しかし、心理的による恐怖に関しては、 無防備な隙が生じる。 「頑張って打開策を見つける」という思考 常に恐怖の情報を脳が認

電気刺激的アクセスをしなくなる。 その隙に脳は恐怖を感じるという感覚から開放され、 恐怖心へ ഗ

る。 しまい、 それは即ち、 刺激を受けていたシナプス細胞が死ぬ宿命ある事を意味す 恐怖を感じる電気刺激野への信号が突然断ち切れ 7

という事は前と比べても受け入れがたい恐怖だからこそ「頑張って 打開策を見つける」をしてしまい隙を生しさせ、 ほどまでと比べて相対的に大きな恐怖心と成る。 きあってしまう。 そしてシナプスも死ぬ事を恐怖し周囲のニュー そうやって相対的に永遠と恐怖心が増え続けていく。 それにより再度、 恐怖心を感じたとき、それは先 ループする。 相対的に強い恐怖 ロンと強く結びつ

ビルの上に立つときはただ、 恐怖を受け入れる立場でしかないから、

いなく、 しかし、 脳内に無防備な隙は生じなく、 である。 的認知であり、 隙が生じる心理的恐怖は、 あくまで脳で認知する。 だからこそ、 極端な思考を発生させてしてしまうの だからこそ免疫が付く。 恐怖の絶対的な量が定義されて 脳で感覚を認知する以上、相対

恐怖に対しても恐怖心が抱ける動物であるという事 人は恐怖というイメージに対して恐怖心を抱き、また、 その抱いた

失った。 彼は無限に続く絶望という名の苦痛に発狂し、 自我を壊し、 我を

苦痛から開放された。 たとしても奇声だけが誰もいない室内を木霊する。彼は今、正に、 この世の最も苦しい苦痛、 そして昔、自殺するべく用意してたロープに、 とめどなく溢れる苦痛は、 無限ループ地獄を体験しているのである。 発散されるべきところもないし、 突発的に飛び込み、 あっ

更に大きな痛みを伴いながら・・・

PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 行し、 など 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインタ 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 ています。 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 堪たD 能のF ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 の タ いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n2711p/

虐めによる自殺衝動の考察と苦痛の解説と仮説

2010年12月10日14時19分発行